

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名		交通安全啓発事業			事業コード	0103
担当課等	所属名	市民部 市民活動推進課		担当係名		
	課長名	市民部 市民活動推進課	担当者名	藤原 賢一郎		電話番号 2113

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	安全な暮らし	コード 2	施策	市民生活を守る安全対策の充実	コード 3
	基本事業	交通安全の推進	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 2款 1項10目 交通安全啓発事業(001-08)	
	特記事項					
事業期間	○ 単年度 ● 単年度繰返 ○ 期間限定複数年度				⇒(開始年度 38年度～)	
事務事業の概要	市民の交通安全に対する意識を高めるため、交通安全季節運動を中心に啓発活動を実施した。					
根拠法令等	交通安全対策基本法第4条					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
盛岡市交通安全計画に基づき、交通安全啓発を実施している。						
この事務事業に対して関係者(市民, 議会, 事業対象者, 利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
自転車マナーの向上や、高齢者の交通事故防止についての要望が多く寄せられている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
自動車運転免許保有人口の増加、車両登録台数の増加と少子・高齢社会の進展に伴い、子どもと高齢者の交通事故犠牲者の減少が重要になる。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	市民、小・中学生、60歳以上の市民	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 市民	単位	人
				B. 小中学校の児童・生徒数	単位	人
				C. 60歳以上の市民	単位	人
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 交通安全季節運動を中心とした啓発を行った。 交通安全ポスターコンクールを開催した。 交通安全ゲートボール大会を開催した。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 22年度に同じ	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 啓発活動機会数	単位	日
				B. ポスターコンクール周知対象数	単位	人
				C. 交通安全ゲートボール大会周知対象数	単位	人
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	日常化しつつある交通事故の発生について、機会を捉えながら啓発することにより、交通安全意識の高揚と定着化を図る。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 啓発活動日数 【指標の性格:○ 上げる ○ 下げる ● 維持する】	単位	日
				B. 交通安全ポスターコンクール応募作品数 【指標の性格:○ 上げる ○ 下げる ● 維持する】	単位	点
				C. 交通安全ゲートボール大会参加者数 【指標の性格:○ 上げる ○ 下げる ● 維持する】	単位	人
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	交通事故から守られる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	人口1万人当たりの交通事故発生件数:当市の数値/全国平均(人口は10/1現在)(単位:%) 人口1万人あたりの交通事故発生件数(単位:件)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	市民	人	297,592	297,267	297,267	298148	298148	298148	26 年度 298148
対象 指標B	小中学校の児童・生徒数	人	23,473	23,143	23,143	23107	23107	23107	26 年度 23107
対象 指標C	60歳以上の市民	人	80,586	83,161	83,161	84381	84381	84318	26 年度 84381
活動 指標A	啓発活動機会数	日	52	52	52	52	52	52	26 年度 52
活動 指標B	ポスターコンクール周知対象数	人	23,473	23,143	23,143	23107	23107	23107	26 年度 23107
活動 指標C	交通安全ゲートボール大会周知対象数	人	80,586	83,161	83,161	84381	84381	84381	26 年度 84381
成果 指標A	啓発活動日数	日	52	52	52	52	52	52	26 年度 52
成果 指標B	交通安全ポスターコンクール応募作品数	点	94	34	34	48	48	48	26 年度 48
成果 指標C	交通安全ゲートボール大会参加者数	人	208	227	227	184	184	184	26 年度 184

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	3,475	3,528	3,565	3,286	3,479	3,479	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	3,319	3,349	3,333	3,060	3,224	3,224	*****
	⑧その他	千円	156	179	232	226	255	255	*****
	合 計 (④～⑧) (=A)	千円	3,475	3,528	3,565	3,286	3,479	3,479	*****
	延べ業務時間数	時間	1,432	1,432	1,432	1,432	1,432	1,432	*****
	職員人件費 (B) (臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	5,728	5,728	5,728	5,728	5,728	5,728	*****
	トータルコスト (A) + (B)	千円	9,203	9,256	9,293	9,014	9,207	9,207	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	①施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	☐ 見直す余地がある ☒ 結びついている	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	②公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	☐ 見直す余地がある ☒ 妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	③対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	☐ 拡大または絞る余地がある ☒ 現状で妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	④意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	☐ 拡大または絞ることができる ☒ 現状で妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
有効性評価	⑤成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	☒ 向上余地がある ☐ 向上余地がない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	⑥廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	☐ 影響がない ☒ 影響がある	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	⑦類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	☒ 類似事業がある ☐ 類似事業がない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
効率性評価	⑧事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	☒ 削減余地がある ☐ 削減できない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	⑨人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	☐ 削減余地がある ☒ 削減できない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	⑩受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	☐ 適正化余地がある ☒ 公平・公正である ☐ 特定の受益者はいない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
公平性評価	⑪費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	☐ 適正化余地がある ☒ 公平・公正である ☐ 特定の受益者はいない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 交通事故を減らす上で、啓発活動は効果的であるが、関係機関との連携によりさらなる効果が期待できることから、警察や交通安全協会等と協力して活動を行うとともに、交通安全季節運動時のみならず、平常時にも定期的に啓発活動を行っていく必要がある。
	②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 平成18年に第8次盛岡市交通安全計画を策定し平成22年度まで計画に沿った取り組みを行ったが、平成23年度より第9次盛岡市交通安全計画を策定し一層の交通事故減少を目標として取り組まなければならない。そのためにも関係機関との協力と連携による活動が大きなポイントとなることから、日ごろの情報交換や季節交通安全運動のみならず、平常時にも啓発活動を行うなど、相互の協力体制を強化する必要がある。

5. 課長意見

一次評価	(1)一次評価者としての評価結果 <table border="0"><tr><td>① 必要性</td><td>☒ 妥当</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>② 有効性</td><td>☐ 妥当</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>③ 効率性</td><td>☐ 妥当</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>④ 公平性</td><td>☒ 妥当</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr></table>	① 必要性	☒ 妥当	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☐ 妥当	☒ 見直し余地あり	③ 効率性	☐ 妥当	☒ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 妥当	☐ 見直し余地あり	(2)全体総括(振り返り、反省点) 交通安全の啓発は、交通事故のない社会の実現に不可欠であり、市民生活の安全に大きく貢献するものであるが、盛岡市を所轄する警察署が3つ(盛岡東・西、紫波)に、交通安全協会が2つ(盛岡地区、紫波地区)に分かれており、それぞれが独自に活動を進めていることから、地域ごとの活動となっており、全市的な連携が難しい面がある。
	① 必要性	☒ 妥当	☐ 見直し余地あり											
② 有効性	☐ 妥当	☒ 見直し余地あり												
③ 効率性	☐ 妥当	☒ 見直し余地あり												
④ 公平性	☒ 妥当	☐ 見直し余地あり												
今後の方向性と改革改善案	(3)今後の事務の方向性(改革改善案) <table border="0"><tr><td>☐ 終了</td><td>☒ 継続</td><td rowspan="3"></td><td>☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</td></tr><tr><td>☐ 廃止</td><td>☐ 休止</td><td>☒ 改革改善を行う</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>☐ 事業統廃合・連携</td></tr></table>  方向付けの理由と改革改善の内容 季節ごとの交通安全運動、交通安全ポスターコンクール、交通安全ゲートボール大会など各種のイベントや運動の強化期間を中心に啓発活動を行ってきた。道路交通法の改正が1年又は2年のサイクルで行われることから、関係機関や団体と連携し道路交通法の改正の周知や交通安全の啓発に努めていく必要がある。		☐ 終了	☒ 継続		☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	☐ 廃止	☐ 休止	☒ 改革改善を行う			☐ 事業統廃合・連携		
☐ 終了	☒ 継続		☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)											
☐ 廃止	☐ 休止		☒ 改革改善を行う											
			☐ 事業統廃合・連携											